

伊予三島ロータリークラブ



2016-2017
WEEKLY



具定展望台より四国中央市を望む

人間に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity

2016-17年度国際ロータリー会長

事務局 四国中央市金生町下分865 四国中央商工会議所内
http://www.iyomishima-rc.jp TEL(0896) 58-3530
E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp FAX(0896) 58-6294
例会 金曜日 12:10~13:10
■会長/井原 伸 ■幹事/今村定生 ■広報委員長/石川 勉

No.35

平成29.2.24

第3027回

I M 報告

会長 井原 伸



真剣に学ぶ我がクラブの会員

2月18日土曜日、リーガロイヤルホテル新居浜において、新居浜ロータリークラブをホストとするインターシティミーティングが開催されました。

我がクラブからは、13名で参加してまいりました。今回の細かい内容につきましては、皆様からのご報告にお任せいたします。

私は、IMに参加するのが、入会以来、今回が6回目ですが、懇親会があるのは初めてです。

会長として参加するIMですので、例年よりも緊張感を持って参加しているわけですが、それだけに懇親会の和やかな雰囲気

気が心地よく感じました。お酒の力は、本当に大きいですね。

それも含めて、今回は永田光春ガバナー補佐のキャラクターが随所に出ているIMだと思いました。IMは、毎年、ホストクラブが変わり、そのクラブの特徴が非常によく表れる行事です。

地区大会・地区協議会や周年事業、また普段の例会訪問によって、他のクラブの方と交流することはできますが、ロータリーの場合、やはり基本は自分のクラブなので、こういう会合は、いつも新鮮に感じます。

同じロータリアンとして、旧知の人は益々親しみを持ってますし、新しく知りあえた人も、意見交換・情報交換することが、たいへん有意義に思えます。

IMの魅力を確認させて頂いた一日でした。

I M 報告特集



藤田 浩 晃

2月18日にリーガロイヤルホテル新居浜で行われたIMに去年に引き続いて参加しました。愛媛第I分区の9クラブが集まり、総勢で200名以上の方が参加されており、ロータリークラブはたくさんのクラブが組織されているのを改めて実感いたしました。また、他クラブの同業の方も何人か見えておりました。

今回のテーマは「奉仕の理想へ、継続を力に！」でした。

記念講演は、カンボジアで地雷除去に当たっておられる高山良二先生でした。高山氏は自衛隊の隊員であった時期である1992年から1993年にかけてPK0でカンボジアに派遣されました。その際にカンボジアに対し、特別な思いを抱かれたとのこと。自衛隊を定年退官後の2002年5月に「日本地雷処理を支援する会」に参加されたのを皮切りに、現在までカンボジアで地雷の処理ならびに復興に当たっておられます。活動内容を聞き、カンボジアの復興のために精力的に尽くされているのがよくわかりました。

次に各クラブからの報告について各クラブの継続事業についての報告がありました。当クラブは井原会長が「善行生徒表彰」について報告されました。各クラブの活動内容はクラブによって異なり、様々な活動が行われていることを知りました。

例会とは違った雰囲気の中で、他クラブのロータリーの活動などを知ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

青木 良 臣



2月18日に、新居浜リーガロイヤルホテルで、IM(インターシティミーティング)があり、基調講演で、元陸上自衛隊の高山良二氏の「カンボジア地雷原の村での挑戦」と題する講演があり、その中で、自衛隊の隊員時代にPK0で、カンボジアで地雷除去に携わり、内戦の影響で、地元の住民が死亡したり、足をなくしたり、満足な生活もできないのを見て、少しでもこの人たちの為に貢献したいと思ったそうです

この仕事を一生の仕事と決めて、自衛隊退官後、4日で、カンボジアに行って現地の人を訓練しながら、地雷除去に携わり、NPO法人を立ち上げて、寄付で活動してるそうです。現在400万~600万の地雷があり、4000個除去したそうです。まだまだ、先が見えないけど、やるしかないそうです。また、学校も作り教育にも力を入れているそうで、志の高い、誰にでもできそうもない、素晴らしい事業だと思い感動しました。

また、各クラブの活動報告があり、「奉仕の理想へ、継続を力に!」をテーマに当ロータリークラブの井原会長の「40年以上続く善行表彰」の発表など、各クラブの大変興味深い活動報告があり、充実した1日を過ごせました。ありがとうございました。



I M (愛媛第 I 分区・新居浜) に参加して

秋山 雅彦

2月18日(土)に新居浜の『リーガロイヤルホテル』で開催されました2016～2017年度国際ロータリー第2670地区、愛媛第I分区・インターシティー・ミーティング(I・M)に参加させて頂きました。当初『新居浜でIMに参加』と聞かされておりました初参加の秋山にとりましては、『??…IM?…』『トムクルーズ主演大ヒットシリーズ映画、M:I(ミッションインポッシブル)』なら知ってるのですが(笑)当日も午前中仕事だった為、先輩会員の皆さまを車で追っかけて会場入りでしたので現地駐車場に着いて『インターシティー・ミーティング(I・M)』の略称だと解りました。

会場へ入ってみると大変大勢のロータリアンの方々が参加されていることに驚きました。当クラブの他に川之江(30名)新居浜南(20名)西条(23名)東予(27名)今治(14名)今治北(15名)今治南(13名)新居浜(56名)、来賓・役員ガバナー(11名)総勢222名の参加IMでした。～奉仕の理想へ、継続を力に!～のテーマを改めて実感することとなりました。

開会「点鐘」に始まり、ソング、永田ガバナー補佐による「開会の辞」、ガバナーメッセージ、ホストクラブ会長の「歓迎の辞」、IM実行委員長挨拶・ご来賓・役員の紹介、参加クラブの紹介、と続きました。(出だしから当クラブ井原伸会長以下伊予三島RCの紹介場面で「井原会長」のお名前が間違えてされるハプニングがありました…)。

休憩を挟み『基調講演』へと続きました。講師のとして北宇和郡三間町出身で陸上自衛隊に36年間所属し、施設科部隊(地雷等に携わる部隊)に勤務して「カンボジアPKO」に参加、地雷処理や不発弾処理活動を上げられた『高山良二先生による～カンボジア地雷原の村での挑戦～』と題しての講演を聞かせて頂きました。高山先生は松山市千舟に認定NPO法人 国際地雷処理・地域復興支援の会(IMCCD)を立上げられて、1年の3分の2はカンボジアの地雷処理の現場で活躍されている方で『地雷のない未来を、カンボジアの村人たちと共に。』との思いで活動されており現地住民の方と一緒に、自立的に安全で豊かな社会を築くことができるよう、全力を注がれています。カンボジアの内戦時に埋められた地雷約400万個～600万個と言われる地雷の種類から爆破のシーン、対戦車地雷を踏んだトラクターの映像など現地に永年携わってきた方ならではの生々しく、メッセージ性の強い講演でした。地雷除去ができた土地には学校の建築(寄贈)、日本企業の工場進出等安全を確保した土地の活用事例に至るまでお話して頂きました。農産物が植えられる状態に除去し“特産のタロイモ”を使ったお酒まで開発が進んでいる様子も紹介して下さりサンプルが1種類ずつ各テーブルを回っていました。(一部試飲する人もいました(笑))第二回目の休憩を挟み16:00～シンポジウムに入りました。進行は永田ガバナー補佐にて『奉仕の理想へ、継続を力に!』のテーマに沿って各クラブから継続事業の発表を行っていききました。当クラブからは『青少年奉仕委員会・善行生徒表彰』につてスライドを交えながら井原会長より説明をして頂きました。私はつつい先日の例会で井原会長の『丸亀国際ハーフマラソンのお話』を思い出してしまいました。いつあのユニークな発表モードになるのかを期待してしまいお腹をかかえて笑う準備は整っていたのですが、当日は持ち時間の7分に余る時間がなかった為か終始真面目モードの発表をして頂きました。(井原会長お疲れ様でした。)

今回は懇親会付きIMでした。お聞きしたらIMの目的にはクラブ間の親睦を深めることが目的とすることを教えて頂きました。ロータリー行事にはお決まりの“セレモニー”があり“よさこい”をモチーフにした新居浜連によるパフォーマンスが派手に執り行なわれました。盛大なパフォーマンスを見て秋山は…『よいよい、アッポー・ペンどこの騒ぎではないなあ』と独りツッコミを心の中で呟いていました。各テーブルに愛媛第1分区の各出席者の方が交流出来るような席次になっており懇親を深めることができました。

基調講演の山田良二先生の国際地雷処理・地域復興支援の会(IMCCD)を応援する“募金箱”も投入され各テーブル一人ひとりに新居浜RCのお世話係の方が廻ってきました。茶色い福沢諭吉さんから青い野口英世さんまで自由に寄付を投入しておりました。(お酒のパワーは凄いですねえ(笑))

閉宴前にはソング「手に手つないで」を参加者全員でひとつの輪になって大合唱して無事に終了しました。また、貴重な経験をひとつ積み重ねさせて頂きました。ありがとうございました。PS. 今回のIM参加者にお土産として付いていた“ハタダ栗タルト・ミニ”ですが松山の自宅へ帰ったその晩のうちに“食べ盛り頭の黒い大きなネズミ達”に制圧され、かわいいみきやんの外箱を残すのみになっていた事を付け加えさせて頂きます。



本当に最後のIMに参加して

白石 英之

IMの前日に会社から内示を受け、井原伸会長に退会届けを出した翌日のIMで正真正銘の最後のIMになりました。

IMは、昨年度に続き2回目の参加でしたが、主催クラブの趣向が、大きくIMの環境を作るものだと思います。

今回の基調講演は、陸上自衛隊を退官された後、NPO法人「国際地雷処理・地域復興支援の会(IMCCD)」を設立され、現在も地雷除去に携わっておられます『高山良二さん』を講師に招き「カンボジア地雷原の村での挑戦」と題した講演でした。

退官後4日後にカンボジアに出向いた行動力には、本当の奉仕とはこういうものなのだと心打たれた反面、自衛隊時代にも苦勞かけたであろう奥さまやご家族はカンボジア行きをどう思ったのか疑問にも思いました。

シンポジウムは、「奉仕の理想へ、継続を力に!」をテーマに各RCが発表をされました。各RCの継続している奉仕内容を発表されていましたが、多くが、社会奉仕と青少年奉仕に関わるものでした。この中で、今治南RCの長期交換留学生についてですが、我が母校の今治北高校と行っていると聞き、そう言えば、高校時代に何で金髪の外国人(在学中の3年間は全員女の子)が毎年入れ替わり来ているのが不思議に思っていました。あの外国人は、RCが行っていた交換留学生なのだ今初めて解りました。いかに案件に関係していない者が無関心であること、無情報であることを痛感しました。

私ども伊予三島RCが行っている「善行生徒表彰」も、もしかしたら「善行表彰」されていることは知っているが、それが伊予三島RCの行っていることを知らない生徒がいるかも知れません。もっともっとPRが必要だと思いました。

退会にあたって

白石 英之



3年前の平成26年3月に現在の職位の四国電力四国中央営業所長として赴任してまいりましたが、当時は東日本大震災による東京電力福島原子力発電所の事故により、すべての原子力発電所が稼働出来なくなりました。その影響により赤字経営が続く中で、「聖域なき削減努力」の命題でロータリクラブへの入会もままならず、当時の会長であった篠原会長(現親睦委員長)へお詫びに行きました。

篠原会長からは、休会扱いにしておくから入会できるようになった時にはお願いしますとやさしい言葉を頂きました。おかげさまで、伊方の再稼働が少しずつ見えてきた平成27年10月に晴れて入会することが出来ました。

それから、わずか1年半と言う非常に短い「ロータリアン」でしたが、皆さまの多大なる援助やご指導により大過なく過ごすことが出来ました。

昨年の下期日帰り親睦家族旅行では、石川親睦委員長(当時)のご配慮により私どもの伊方発電所見学をして頂くことが出来ました。今まで親睦旅行で昼までとは言え、飲酒出来なかった旅行は初めてだと石川委員長に言われたことが、皆さまがいかにか紳士的に伊方見学をして下さったかを物語っています。

またゴルフ部会では、自分の下手なゴルフでも楽しくプレー出来るメンバーに恵まれ非常に楽しいゴルフが出来ました。

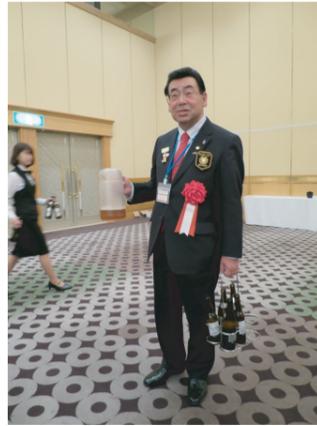
今回、グループ会社の「四電エナジーサービス愛媛支店(松山市)」へ出向となります。定年後2年に控えた今、初めての「出向」で戸惑いと不安が有りますが、皆さまのお付き合い出来た経験を糧に努力してまいります。

本当に有難うございました。

大変盛り上がったIM!!



井原伸会長の善行生徒表彰の発表風景



ガバナー自らテーブルへ!



現地のリーダー・通訳と記念撮影



各テーブルで第1分区の会員と懇親

第3027回 例会 記録 平成29年2月24日

開会 井原 伸 会長

出席報告

出席会員 (36名中) 27名
出席率 81.82%
第3025回修正出席率 93.55%

会長の時間

○定例理事会報告

- ・伊予三島RC創立20周年記念建造の『母子像』、新庁舎建設に伴う移動の件について 承認
- ・会員勧誘活動の件について 承認
- ・会員退会(転勤)の件について 承認
- ・平成28年度事務委託費・会場使用料 支払いの件について 承認
- ・3月度プログラムについて 承認
- 3/3 青少年奉仕委員会
- 3/10 地区研修・協議会報告
- 3/17 (夜)クラブ協議会(炉辺会合)、クラブアセンブリー
- 3/24 米山奨学委員会
- 3/31 卓話(内部)、定例理事会

幹事報告

- ・RI日本事務局～3月度ロータリー・レートのお知らせ 1ドル=116円
- ・RI2670地区米山奨学委員会～特別寄付金のご協力のお願い

例会行事

IM報告

ニコニコ紹介

白石英之君～転勤により、今月末で退会することになりました。
1年半という短い期間でしたが、大変お世話になり有難うございました。

3月10日プログラム予定

地区研修・協議会報告